

令和10（2028）年度入学者選抜より、音楽学部器楽専攻

管打楽器コースにおいて学校推薦型選抜を廃止し、総合型

選抜を実施します。

1 趣旨

管打楽器コースでは、演奏を通じて社会に貢献できる多彩な人材を募るため、従来の学校推薦型選抜を刷新し、出願資格を大幅に広げた総合型選抜を導入します。多様なバックグラウンドを持つ受験者の個性を発掘し、次世代の演奏家として育成することを目指しています。

2 アドミッションポリシー

求める人物像

- ・豊かな感受性、想像力、表現意欲を備えている人
- ・人との関わりや思いやりを大切にし、協調性、適応能力に優れた人
- ・アンサンブルなど共同での演奏に関心のある人
- ・物事への積極性があり、愛知県の文化・自然・芸術に関心を持ち、国際的な視野を持っている人

入学前に身につけてほしいこと

- ・主要オーケストラ作品、室内楽など様々な作品に興味を持ち、知識を広げておく
- ・積極的に演奏表現をしようとする姿勢
- ・音楽の基礎的能力（ソルフェージュ、ピアノ、楽典）
- ・基礎的な学力、語学力

入学者選抜試験の基本方針

【総合型選抜】

- ・書類審査（音楽活動記録、調査書他）及び録画による演奏審査の後、専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験を行い、それらの結果を総合して合否を判定します。

3 募集人員

5名

4 出願資格

次の(1)と(2)の両方に該当する者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和10年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和10年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和10年3月31日までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和10年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和10年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和10年3月31日までに合格見込みの者で、令和10年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和10年3月31日までに18歳に達するもの

※ 出願資格⑧により出願しようとする者は、募集要項に記載の期限までに入試課に申し出て、その指示を受けてください。

- (2) 本学の教育内容を十分理解したうえで、本学において学ぶことを強く希望し、合格した場合には必ず入学することを確約できる者

5 出願書類

- (1) 1000字程度の自己アピール文(様式自由)
- (2) 音楽活動記録書(本学所定様式に記載)
- (3) 調査書

指導要録の保存期間経過により調査書が作成できないときは、次の①②を提出してください。

①卒業証明書、②成績証明書または単位修得証明書等(発行できない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。)

- (4) 演奏曲目提出用紙(本学所定様式に記載)
- (5) 課題曲演奏動画

6 選抜方法及び点数配分

2段階選考を行います。

(1) 書類選考

提出書類(自己アピール文、音楽活動記録書、調査書)及び演奏動画による審査を行います。

(2) 本選考

専攻実技試験、面接試験、音楽の基礎的能力試験による審査を行います。

1日目

専攻実技試験：課題曲

面接試験

2日目

音楽の基礎的能力試験：ソルフェージュ、ピアノ、楽典

(ただし、出願者数によっては、面接試験の一部を2日目に実施する場合があります。)

(3) 点数配分

書類選考		本選考			
書類による審査 (演奏動画による審査を含む)	計	専攻実技試験	面接試験	音楽の 基礎的能力試験	計
100点	100点	800点	100点	100点	1,000点

その他詳細は、『令和10年度音楽学部総合型選抜 学生募集要項』にて公表します（令和9年7月下旬公表予定）。